

記録

16ミリ

カラー／24分

日・英語版

■企画

大成建設株式会社

スタッフ

■製作

村山英世

■脚本・演出

花崎 哲

■撮影

野崎嘉彦

■編集

沼崎梅子

■照明

本橋俊男

■音楽

愛場俊彦

■解説

武田 広

土木学会推薦 科学技術庁推奨

建設現場における高度な技術や工法は、一般には理解しにくいものがあるが、映画で記録することによって、これを観る人は施工上の困難や工夫を知ることができる。

本作品はそのような意図をもってつくられた（なお、この作品は翌1985年に英語版とともに改訂版が製作されている）。



都市トンネルの掘削方法として、泥水シールド工法が多く採用されている。

羽田空港そばの京浜運河の地下では、高水圧の軟弱地盤しかも海底下で長い掘削距離という困難な条件と闘いながら、直径10メートルをこえる大口径のトンネルが泥水シールド工法によって掘られている。

従来難しいとされた数々の問題を克服するため、コンピューターなど最先端の技術を使って、可能なかぎりエレクトロニクス化された現場は、従来のトンネル工事のイメージを一変させた。